

農業ビジョン用語の解説

用 語	解 説
※1 農産物	農産物（のうさんぶつ）とは、農業による生産物のこと。畜産物を含む。
※2 集約的(集約農業)	単位面積あたりに投下される労働、資本の集約度合の高い農業形態(労働集約型)
※3 農家	経営耕地面積が 10a 以上の農業を営む世帯または、経営耕地面積が 10a 未満であっても、調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 15 万円以上あった世帯。
※4 販売農家	経営耕地面積が 30a 以上または調査期日前 1 年間における農産物販売額が 50 万円以上の農家。
※5 自給的農家	経営耕地面積が 30a 未満かつ調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家。
※6 経営耕地	耕地調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地をいい、自家で所有し耕作している耕地(自作地)と、よそから借りて耕作している耕地(借入耕地)の合計。
※7 EPA(経済連携協定)	貿易の自由化に加え、投資、人の移動、知的財産の保護や競争政策におけるルール作り、様々な分野での協力の要素などを含む幅広い経済関係の強化を目的とする協定のこと。
※8 FTA(自由貿易協定)	特定の国や地域の間で、物品の関税やサービス貿易の障壁などを削減・撤廃することを目的とする協定のこと
※9 認定農業者	農業経営基盤強化促進法に基づき、自主的に「農業経営改善計画」を作成し、市町村に提出、計画の認定を受けた農業者。農地利用・資金・税制面等の支援を受けることができる。
※10 中核農家	札幌市独自の「中核農家登録制度」により、経営に意欲的な農業者が登録申請書を市に提出し、市が登録。種々の事業を優先的に実施する地域農業の担い手として位置付けている。

用 語	解 説
※11 認定新規就農者	農業経営基盤強化促進法に基づき、新たに農業経営を開始する青年等が「青年就農計画」を作成し、市町村に提出、市町村が認定する。青年就農給付金や無利子資金制度のほか経営体育成支援事業等を活用することができる。
※12 農地中間管理事業	「農地中間管理事業の推進に関する法律」等により都道府県知事が指定する「農地中間管理機構」が農地を借り受け、まとまった形で農地利用の集積・集約化を目指す担い手に貸付ける等の事業。
※13 専業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家。
※14 兼業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる農家。 第1種兼業農家：農業所得を主とする兼業農家 第2種兼業農家：農業所得を従とする兼業農家
※15 新規参入者	新たに独立自営で農業を開始した者
※16 遊休農地	農地法において、ア) 現に耕作の目的に供されておれず、かつ、引続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。イ) 農業上の利用の程度がその周辺の地域における農地の利用の程度に比し、著しく劣っていると認められる農地(アを除く)。(耕作放棄地+低利用農地)
※17 耕作放棄地	以前耕作していた土地で、過去1年以上作付(栽培)をせず、この数年の間に再び作付する意思のない土地
※18 札幌市農業振興協議会	農業者、農業団体及び関係行政機関などが連携を密にし、一致協力して市内農産物の生産、流通の改善と市民に対する農業理解の促進を図り、農業経営の持続的安定に努めることを目的に設立した協議会。札幌市農業協同組合やサツラク農業協同組合、札幌市等により構成。

用 語	解 説
※19 「さっぽろとれたてっこ」	札幌市農業振興協議会が、一定の基準に基づき認証した農業者が生産した農産物やその加工品を、「さっぽろとれたてっこ」ブランドとして普及する取組のこと
※20 環境保全型農業	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくりなどを通じて化学肥料、農薬の使用などによる環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業のこと
※21 意欲ある多様な担い手	「人・農地プラン」に掲載されている経営体。認定農業者や中核農家など今後も安定した経営を継続、または拡大する農業者を言う。
※22 人・農地プラン	農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など地域が抱える「人」と「農地」の課題解決のため、今後の農業のあり方などを地域で話し合い、解決するための計画。
※23 有機性廃棄物	生ごみ、し尿浄化槽汚泥、剪定枝、木竹草などの都市から発生するもの、家畜糞尿や稲わら、間伐材などの農林業から発生するもの、食品などの製造工程から生じる野菜かす、醸造かすなど食品工業から発生するものなど固形状の不要物の総称
※24 農業生産工程管理 (GAP : Good Agricultural Practice)	農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に則して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動
※25 PDCA サイクル	Plan-Do-Check-Action の略称。Plan (計画)、Do (実施)、Check (評価)、Action (改善) の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法

用 語	解 説
※26 労働集約型農業	キュウリやトマトなど栽培作業の機械化が適さず、作業の大半に多くの労働力が必要となる農家。
※27 土地利用型農業	米、麦、大豆など栽培作業が機械化に適し、大規模に展開される農業
※28 「さっぽろハーベストランド」	石狩館内の5農協（JA さっぽろ・JA 道央・JA いしかり・JA 北いしかり・JA 新しのつ）が生産者と安全・安心の確保に取り組んでいる、さっぽろ圏産の農畜産物ブランドのこと。

SAPP_URO

編集・発行 札幌市経済観光局農政部
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL 211-2406 FAX 218-5132
市政等資料番号 01-H04-16-2033